8お

8おの二行

22

斧禁本の話

城市部

ミユッセの『ガミアニロ』の場合

14おの

詩人ミユッセの作品だといわれる『ガミアニロは、フランスの好色本のなかで最も著名ですが、世界各国でも珍本扱ひされて、限定出版が多く、日本では訳本のすべてが斧禁禁止になっています。邦訳がおたのは割合に早く、昭和六年の平凡社『世界猟奇全集』中一巻に収められた『飲楽の一夜』が初訳です。

訳者は丸木砂土で、斧禁を密れて伏字だらけ、満身ソウイの翻訳となりましたが、珍書愛好家は名代の『ガミアニロが突然発表された大膳さに唖然となり、無事通過、万一の僥幸を期待したと伝えられています。

その内容に触れる前に、日本では誰がイの一番に『ガミアニロを紹介したか、述べてお きますと、昭和三年頃、文芸市場社―艶本出版史に落せない人物梅原北明、本格的エロ出版のオルガナイザーといわれた北明が主宰